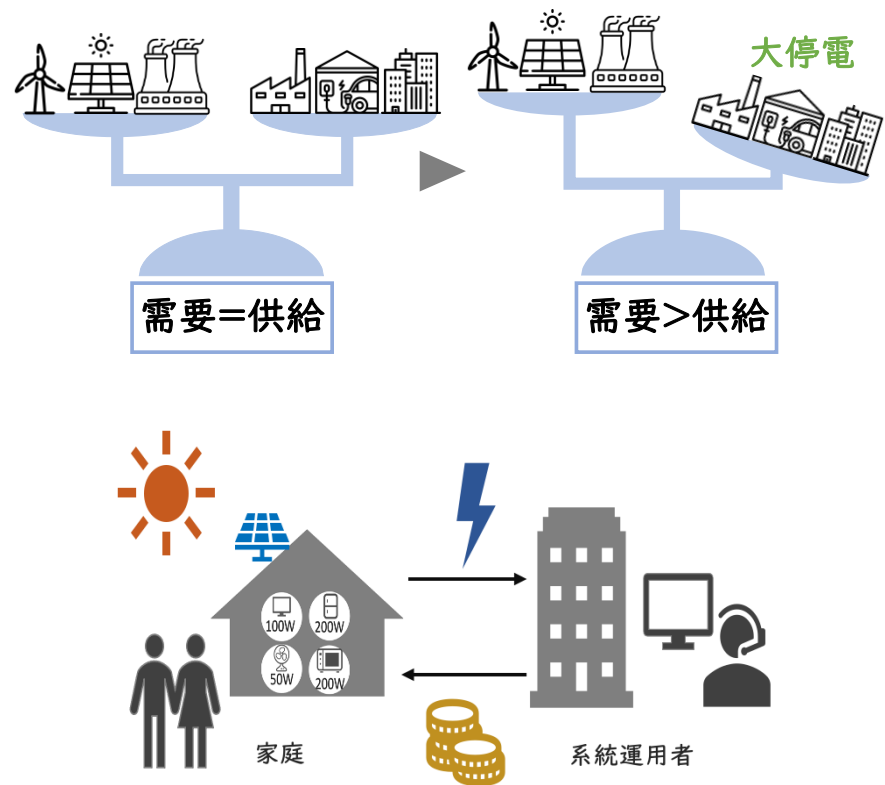


研究背景

- 電力需給ひっ迫
→デマンドレスポンスが要求される
→需要側の太陽光発電量や消費電力を可視化



問題点

- 現在の計測機器では解析が不十分
→次世代の計測機器の規格検討(計測粒度など)

解決に向けた研究

- 現在の計測機器より細かい粒度で電流波形を計測
→電流波形を機械学習モデルで解析
→電化製品の稼働状態を識別

